



安心して生まれ、育ち、暮らせるふるさと生駒をつくろう

県は 一日も早く新病院に必要な病床を！ 県医療審議会は未だ審議せず！ どうなる新病院！

ハイライト

新病院：
なぜ医療審議会は
まだ開かれない？
十分な病床は確保で
きるのか？

3月議会：
繰上償還の財源否決
2.6億円の損失？
行政組織改革はまた
しても否決！
保育料値上げ否決、
やっつけられるの？

市民自治基本条例：
市の憲法、県下初の
制定へ！

理事任命：
坂本好司氏、市長を
補佐。

2月15日の新病院整備
専門委員会、18日の市議
会の新病院設置等に関す
る特別委員会での意見を
ふまえ、生駒市は2月20日、
新病院開設の事実上の申請である**事前協
議書を県に提出**しました。市内の3病院が
増床申請をしているため、新病院にどれだ
けの病床を割り振るかは、**知事の諮問機関
『医療審議会』**が審議します。当初、3月末



までに結論が出ると思われていましたが、
3月28日に開催された臨時医療審議会では
生駒市の新病院は議題にあがりませんで
した。次回、いつ**審議会が開かれるのか未定**
です（県の担当課）。十分な病床が許可さ
れなければ新病院は採算がとれず、建設で
きなくなるでしょう。命に関わる問題で
す。一日も早くと待ち望んでいる市民の声
を受け止めた迅速な対応を望みます。

病気は待ってられません！ 迅速な対応を！

**住民の命は県医療審議
会にかかっています！**

病院のベッド数は医療審議会の答申
に基づき知事が決めます。県が定め
た医療計画により、県内の総ベッド
数の上限が定められています。生駒
市を含む西和医療圏の空きベッド数
は**現在266床**。しかし、**市内の3病院
が増床申請**をしましたので、3病院
に多くの病床が許可されると、新病
院は、必要な医療を安定して提供す

るために必要な病床を確保できなく
なります。私は市立の新病院を中心
に3病院が協力して生駒の2次医療
を充実してほしいと考えています。
ベッドの取り合いは共倒れになりま
す。医療審議会には**医療提供体制の
整備を目指した最善の病床配分**を期待
します。住民の命は県医療審議会に
かかっています。

伊木の一般質問 ～新病院関連～

3月議会

3月7日から24日まで
開催。平成20年度の
予算含め47議案を審
議。3議案否決。詳細
はP3-4。
伊木の一般質問は3月
11日。新病院と災害
時の医療体制を取り
上げました。本会議
は5月中旬まで市議
会のホームページから
見ることができます。

『新病院が健全に運営されるための施策につ
いて』市の見解を問いました。

伊木：新病院の健全な経営ためには、**中間答申
の実現が必要**。開院前からその実現状況をチ
ェックする協議会が必要と考える。いかが？

市長：新病院整備専門委員会にその役目を担っ
てもらおう。

伊木：小児科や救急医療はじめとした必要な医
療を新病院が末永く提供し続けるために、今
から講じておくことはないか？

市長：医師会との連携体制の確立、あらゆる事
態に対応できるような市にとってデメリット
のない協定書の作成、医療の質の向上を図る
ために、（財）日本医療評価機構の審査を受
けるよう徳洲会に働きかける等考えている。

伊木からの提案：開院までの2年間に、新病院
が良好に運営される環境を整えたい。具体的
には、**公募市民が半数くらい占める新たな会議
体**で、住民が医療機関にかかる時に困ってい
ることは何か、逆に救急隊や医療現場から見
た患者の問題行動などの病院を取り巻く問題
をあらひ出す。そして広報、タウンミーティ
ング、シンポジウム等を行い住民と一緒に解
決策を考えていく。このような活動は、二次
救急外来への軽症患者の集中やコンビニ受診
を減らし、医師や看護師など医療従事者の精
神的肉体的疲弊、診療科の廃止を防ぐ。スタ
ッフがイキイキと働く病院では医療事故も減
少し、丁寧なよりよい医療が提供される。

市長：良いアイデア、検討していきたい。

ニュースで紹介した
内容はブログ「日々
の活動日誌」でも紹
介しています。

**ホームページとプロ
グもご覧ください！**
http://
www.eonet.ne.jp/
~ikomanomirai



第3回伊木まり子市政報告会を開催しました！

さる4月27日(日)午後2-4時にセイ
セイビル4階で第3回の市政報告会を
開きました。今回もたくさんの市民の
みな様にお集まりいただき、厚く御礼
申し上げます。これからも医療を中心
に安心して暮らせる生駒のために市
民のみな様と共に歩んで参ります。ど
うぞよろしくお願ひいたします。



予算審議

子育て世帯にはありがたい、でも、お年寄りには先行き不安？
無い袖は振れず！ やりくりは大変！

今年の予算は**一般会計323億円、特別会計197億円、企業会計36億円、総額555億円**。初めて審議に加わった1年生議員の目で予算を紹介します。

特別会計には国民健康保険、介護保険、下水道事業、市営駐車場など、企業会計には水道事業が含ま

れ、これらは、歳入に占める保険料や料金収入などの割合が大きく、税収を基本とする一般会計と性格が異なるために別枠で予算が組まれます。詳細は広報いこま4/1号『平成20年度の事業施策と予算』をご参照ください。P（ページ）は広報のページです。

一般会計予算 323億円の使い道は？

（数字は概算です）

歳入323億円の内、使用料・手数料などを除く300億円を超える予算は全て私たちが収めた税金です。地方交付税、国庫支出金などもともと私たちが納めた税金。生駒市には大きな工場や企業がほとんどありませんので、個人の市民税・固定資産税が大きな収入。すなわち、予算は市民が身を削って出した市民の資産です。市は今年の**主な使い道**をP2～4に示していますが、これらの合計は、わずか**約18億円**。ではほとんどの予算は何に？ P6歳出に示された費用を見てみました。わかりにくい経費は、**総務費42億円**：電算機関係、電子入札、企画、文書費、広報費（広報いこまの費用もここです）、市民活動、人権施策、徴税、選挙、交通対策、コミュニティバスなどの経費

民生費84億円：老人福祉、児童福祉、障害者福祉、生活保護、保育所などの経費

衛生費35億円：ごみ、し尿処理、環境保全、予防費（休日夜間応急診療所業務・予防接種・健診・癌検診委託料など）、保健衛生総務費（新病院の地代、乳児健診・妊婦健診委託料など）などの経費

公債費38億円：市の借金返済に充てる費用。

では、市役所の職員などの**人件費**は？これは公債費と予備費以外の各種経費の中に含まれています。

合算すると**84億円**で、民生費とほぼ同額、予算の1/4。やはり人件費は重い。議員も含め、市民のためにしっかりと働かねばと思います。

歳出のトップは**民生費(25.9%)**、次に**教育費64億円(19.8%)**で、教育費は18年度47億円、19年度54億円より増加しています。幼稚園・小中学校の改築・改修、耐震化費用に、今年は30人学級実施、幼稚園3歳児全員受け入れ、扇風機の設置などが加わったためです。**民生費**では**児童福祉費**が民間2保育園の新設による待機児童解消や病後児保育の実施委託料などのために昨年より約2億円増加。本年度の**生活保護費**は8億1千万円。平成8年の3億2千万円から平成18年の7億6千万円へと増加し、今年は更に増えました。**老人福祉費**では当初市長が削減を打ち出し復活した交通費助成費（生きいきカード）に2億3千万円（次ページに関連事項）。初めて1万円の生きいきカードが配られた平成8年の対象者は7,912人、総額約6,900万円。平成13年から1.5万円に増額、平成18年には対象者が14,344人と倍増し、総額約2億900万円に。今年は更に増えました。一方、**土木費**は平成8年には88億円(32%)でトップでしたが、今年は**36億円(11.2%)**。大規模宅地開発や箱物建設の時代は終わり、市長が今年“子育て・安全安心予算”と言うように、高齢社会対応、教育・子育て・福祉に重点を置く時代へと予算も変わってきているのです。

經常収支比率(P8参照)が98%にまで上がってしまった現在、もう無駄な投資は許されません。市民から集めた限りある予算を市民のためにどう使うか？子供にもお年寄りにも住みやすい街づくりは容易なことではありません。**予算は生駒の設計図**。議員は心して取り組まなければいけないと強く感じました。

新病院建設にかかる経費は？

県が許可病床数を示していないので、まだ、病院建設のゴーサインは出ていません。今年の予算は**借地料と造成工事費の約9千万円**のみ。ゴーサインが出れば、市が建物を建設するための病院債を発行しますので、公債費が増えます。病院は将来の住民にも利用されるので、借金返済は将来の住民にも負担していただきます。市が本年2月に示した試算では、建築費等の市の初期投資経費は約48億円。このうち47億円は病院債。30年で返すので、約21億円の利子が付きますが、約15億円は国が交付税として負担しますので、市の負担は約54億円。しかし、市が病院をつくる場合はベッド数などに応じた交付税（年間2億円）が入り、公募の条件で徳洲会から減価償却費相当額（年間1.8億円）が納入され、病院は独立採算、補助金も赤字補填もなしですので、病院債を返済し、約4千万円の借地料を支払っても、市の病院会計は**開院3年目から黒字**になり、初期投資約54億円も回収できると試算されています。市民の皆さんも一緒になって、全国に発信できる健全経営の市民のための病院づくりをしましょう！

徳洲会は住民参加・住民管理・住民監視という立派な理念を掲げています。しかし、これは住民がしっかりしなければ、機能しません。市民の積極的参加によって、子供にもお年寄りにも安心できる市民の病院を作りましょう。

市の試算はホームページでご紹介します。



3議案否決、なぜ？

3月議会では47議案を審議。3議案は否決となりました。

古いままでいいの？

2億6千万円も節約できる議案に、なぜ反対？

市の借金のうち高金利(6~7%)の政府系融資の一部が、H19~21年の3年間に限り、補償金の支払なしで繰上償還(早期返済)できるようになりました。この政府系融資と、今後は繰上償還できなくなる可能性のある銀行からの融資の返済のために、市は当面使う予定のない基金積み立て金(生駒駅前市街地再開発事業促進基金と北部地域整備促進基金)のうち31億円を取り崩したいとして19年度の第6回補正予算を提出しました。これらの融資を積み立てておくことによる利息収入は4,500万円(利息は0,4と1,4%)。今回返済すると**3億500万円の金利負担が軽減**できるので、差し引き**2億6千万円負担が減ります**。市長は、今、基金を取り崩しても正式な計画が決まれば財源を確保すると明言しましたが、「事業計画が決まっていないうちに取り崩すのには反対である」として市の案を否決しました。いずれも市民からお預かりしている大切な財産。2億6千万円も節約できる案をどうして否決するのでしょうか。幸い、**20年度でも繰上償還が可能**です。

**次回の提案時には反対議員も賛成を！
市民の皆さんもこの点にはぜひ注目を！**

市民の声がどうさせた？

市の案に対して塩見議員から賛成討論あり。学識経験者と市民・議員の立場の違い、議員には2重払いの可能性のあることを力説。傍聴席から拍手！‘ご静粛’にと議長的一幕あり。要望書を提出した議員はこの市民の声に押し切られた？

いったいどこから予算を捻出するのか？

一般会計から補填の国保会計、保険税値上げやむなしでは？

平成14年から単年度赤字が続く国保会計。18年に値上げを提案するも否決。今回、基金も底をつき市は値上げを提案。しかし、値上げはするものの市の提案から2千万円減の福中議員修正案(高所得者は市の原案より減額)が多数で可決。国保会計建て直しのため、値上げやむなしでは？

保育料:幼稚園値上げ、保育園据え置き

幼稚園では平成10年、保育園では平成6年以降、据え置きの状態。保育料のかかなりの部分は住民の税金によって賄われていますし、新規保育園開設、病児保育の充実などによる支

出増から市は保育料の値上げを提案。さらに保育園については、保育料免除の枠を父子家庭、精神障害児にまで拡大を提案。しかし、保育園は保育所運営協議会を事前に開催していないという理由で否決。この結果、父子家庭、障害児をもつ家庭には負担が続くことになりました。また、約2,200万円の歳入減だけでなく、保育の質の低下につながるかと心配しています。

どれも値上げせずにすめばよいのですが、財政難では仕方が無いと考え、私はいずれにも賛成しました。でも、毎年の値上げは困ります。国保については保険税値上げを防ぐための医療費削減対策の検討を市に求めました。

市の行政組織改革案否決！

平成18年度は市長就任後間がないことなどを理由に否決された改革案。重点施策の取り組み強化、職員定数削減に伴う組織のスリム化、効率的・機能的な体制再編等を目的に庁内で検討した案を新たに提出。**こども部、防災課の新設、都市整備部と開発部を統合した都市創造部新設**など。高山の開発推進派などからの反対意見が強かったため、市は開発部を残すなどの修正案を提出。しかし理由が不明確なまま否決。私は問題ありとは考えられず、改革に賛成。

本会議終了後！

審議会等の議員報酬引き下げ案、否決から一転、議員は無報酬へ どうして????

審議会などの委員の報酬は、学識経験者、議員、公募市民などに関係なく14,000円。市は財政難を理由に、議員と公募市民は**5,000円への減額**を提案。学識経験者は市の依頼で専門的な意見を述べる立場、議員、公募市民は自分達の街のために自ら進んで参加。私は、議員は無報酬でよいし、市民も報酬を求めないでしょうと企画総務委員会で発言しましたが、減額に反対する意見が大半でした。予想通り本会議で**市の案は否決**。しかし、本会議終了後、ほとんどの反対議員の連名で、“議員に対する付属機関等の委員報酬は2重払いという意見もあるので**無報酬に**”という要望書が市長に提出されました。なぜ、本会議中に修正案を出さなかったのか、理由がわかりません。

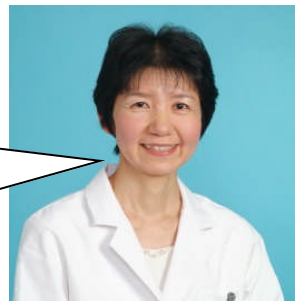
高齢者交通費助成金削減は見送り

市は当初、ハートフルプランの中間答申を受け、高齢者交通費助成金の削減(生きいきカード減額)などにより**1億3千万円の歳出削減を提案**。私も含め議員20名は中間答申は21年度からのプラン策定のための提言、今回の予算に反映することは拙速であるとして本年度予算に盛り込まないよう市長に要望。私は助成削減に反対ではありませんが、削減の理由を十分市民に説明してから行って欲しいと考えました。減額する理由を知ることにより、市民の皆さんが市の財政状態を理解し、限られた予算内で、受けたいサービスと返上するサービスについて考えていただきたい(市民自治!)と思っております。

一般質問:災害時の医療体制について

昨年6月、災害時の医療体制について一般質問を行い、現在の計画では救護所に医師不在の可能性が高いことを指摘しました。本年1月17日に芦屋市で阪神大震災の被災者の声を聞き、再度、生駒市での体制を質問。医師不在の問題が解決されていないだけでなく、医師会との契約内容の不備、指揮命令系統の不明確さも露呈。私は芦屋市の医療体制を紹介し、本市での充実を求めました。4月から防災課もできました。市では早急に対策を検討することです。十分な対策かどうか、再度、質問し確認します。

災害はいつ起きるかわかりません！
安心な医療体制の整備を！



～ 2月-4月の話題 ～

新病院のことで奈良県のHPを開きましたが、ほとんど情報は得られず。改めて、生駒市では情報公開が進んでいることを認識しました。情報公開は当然、今や市民と情報共有の時代、市民自治の時代というのにちょっとがっかり！

国の憲法にあたる市の最高規範 “自治基本条例づくり” 進行中！

平成12年に地方分権一括法施行後、自分達の街の問題は自分たちで考え運営していく“市民自治”の時代となりました。市民自治の基本的なルール、自治体の憲法とも言える“自治基本条例”づくりがあちこちの街で行われています。奈良県では現在、生駒市と郡山市で検討中とのこと。本市では平成19年1月に生駒市市民自治検討委員会を設立。市民自治基本構想を検討した結果、本年3月、最終提言書がまとめられました。この提言書を元に条例案の策定作業が進められます。市民自治の目的、市民のまちづくりに参画する権利・責務、市長・議会・職員の役割・責務、市政運営などが盛り込まれます。“街づくりは行政にお任せ”の時代は終わりました。生駒をどんな街にしたいか皆さん、一緒に考えましょう！

市の広報4/15に説明があります。

奈良日日
3/26

県内初の自治基本条例へ

生駒市 検討委が基本構想策定



最終提言書提出
市長に
情報共有と公開を
参画と協働、人権尊重も

生駒市市民自治検討委員会が、市民自治基本構想の策定作業を進め、最終提言書をまとめた。この提言書は、市民自治の目的、市民のまちづくりに参画する権利・責務、市長・議会・職員の役割・責務、市政運営などが盛り込まれている。この提言書を元に、自治基本条例案の策定作業が進められる。市民自治の目的、市民のまちづくりに参画する権利・責務、市長・議会・職員の役割・責務、市政運営などが盛り込まれる。市民自治の目的、市民のまちづくりに参画する権利・責務、市長・議会・職員の役割・責務、市政運営などが盛り込まれる。

前市長1千万円着服 2月6日！ 緑化大賞助成金横領事件の調査報告

前市長による行政の私物化と議会・行政の不正を関知する神経の麻痺を指摘！

生駒市総合スポーツ公園用地購入問題等調査委員会は2月6日、緑化大賞助成金横領案件について報告書を提出。前市長の約1千万円の賞金横領に市職員が関与していた事実と、職員の倫理観の低下を明らかにしました。そして、職員倫理憲章の制定、第三者からなる告発申し立て窓口や不適切な人事に対応する窓口の設置、助成金・補助金の情報公開などを提言。その後、市では事件に関与した職員4名を懲戒処分等としました。総合スポーツ公園用地購入問題は6月から裁判が始まります。どのような事実が明らかになるか見守り、議員として何をすべきか考えたいと思います。

市長、理事を置く！

4月8日!

副市長空席の現状打開
市長を補佐

昨年の9月議会に提出された副市長人事（坂本好司氏）が理由不明のまま反対多数で否決され、空席の副市長。私が最大の心配は市長不在時の災害には誰が緊急対応の指揮を執るかということでした。市長が信頼を置く坂本好司前都市整備部長を理事に抜擢、緊急時対応だけでなく、就任以来の2年間一人でこなしてきた市長の職務も補佐されることになり安堵しました。

3/24 政治倫理条例案は廃案に！

昨年の3月議会に議員提出議案として提案、否決された政治倫理条例案。6月議会に再提案。企画総務委員会で審議されてきましたが議員間の意見の隔たりが著しく膠着状態。この状態を打開するために、本年1月から2回、議員全員参加の意見交換会を持ちました。単に意見を交換する場と思いきや、全会一致で不正抑止力に問

題のある甘い条例を制定する目的で進行していることに途中で気づき反対を表明。しかし、反対表明が不十分であったため、全会一致で制定する方向へ進みました。委員会で議論せず非公式の場でまとめられたことや内容の不十分さなどどうしても同意できず、私と角田・塩見・井上清議員が最後まで反対。原案提出者が議案を撤回し廃案となりました。今後、真に不正を防止できる条例制定を目指したいと思っています。

議会の予定

- 4/21 (月) 15～全員協議会
- 4/25 (金) 10～
議会改革の検討会（議検）
市民参加広報部会
- 4/28 (月) 10～
（議検）議会活性化部会
- 4/30 (水) 13～議案説明会
- 5/7 (水) 10～議会運営委員会
13～全員協議会
- 5/9 (金) 10～臨時議会
新たに議長が選ばれます！

傍聴に
お越しく
ださい！

皆さんの熱い視線が
議会を変えます！
生駒を変えます！

なが〜い 編集後記

国と地方の借金が800兆円を超えるともいわれる時代。国からの補助金など期待できません。国の補助金とはいえ、もともと我々の税金。国は我々が額に汗して得た収入からの税金をうまく使うどころか浪費し、そして大きな借金をしている。財源が無ければ街づくりはできません。予算審議は市民に選ばれた、市長と議会が、真剣に街づくりを考え議論する最重要案件と感じました。国に頼る時代は終わりました。借金だらけの国に振り回されることのないよう、しっかりした市民自治を実現していかなければなりません。医療も県や国に頼っているだけではダメです。病気は待ってくれません。この医師不足の時代に生駒に医療を提供しようとし、“住民参加・住民管理・住民監視”を基本姿勢としている徳洲会に対し、どのような病院が真に住民のための病院かを問い続けることが、今を生きる私たちの役目ではないかと思えます。 まり子



ベトナム視察団に加わって～枯葉剤被害の子ども達～ 1/30-2/4

前回のニュースを販売所に届け、急いで旅支度。翌朝、関空を発ちベトナムへ。空港ではあのベトナムドクちゃんのドクさんが出迎えてくれました。ドクさんがベトナムさんと共に入院していたツーズー病院で枯葉剤の被害にあった子ども達に会いました。農村や森林に撒かれた強力なダイオキシンを含む枯葉剤は今も土壌を汚染しており、脳や手足に障害のある子供が生まれています。戦争は日常では当たり前の命の重さを忘れさせます。命を軽んじた行為は平和な時代になっても人々を苦しめています。武力行使は決して認めてはいけない、どんな場合にも平和的な解決をと、強く思った旅でした。